



豊玉二中だより

令和6年度 第5号
発行日 9月2日(月)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 大野 雄一郎

実りある2学期にするために

校長 大野 雄一郎

44日間の夏休みが終わりました。どんな夏休みを過ごしたでしょうか。今年は例年以上の暑い夏に加え、パリオリンピック・パラリンピックも重なり、夜遅くまでの応援などで、寝不足気味の人も多いのではないのでしょうか。豊玉二中生としては、夏休み中にも地域未来塾で学習したり、部活動で汗を流したり、学習や部活動に一生懸命な姿が目立ちました。特に、ソフトテニス部や吹奏楽部は都大会やコンクールで精一杯力を出し切った姿が印象的でした。また、1年生はイングリッシュキャンプへ軽井沢に行きました。こちらは外国人講師の先生と、勇気をもって英語で話してきました。2学期からの英語の授業に生かしてほしいと思いました。

さて、いよいよ今日から80日間の長い2学期が始まります。暑さはもうすぐやわらぎ、2学期は秋の比較的過ごしやすい日が続く「食欲の秋、芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋、行楽の秋…」と言われています。中でも中学生にとっては「勉強の秋」、すぐに第2回定期考査が始まります。三者面談や通知表、前回の定期考査で分かった課題を中心に準備して、ぜひ一人一人が前回は上回る得点を期待しています。

2学期は本校でも大きな行事が多く、主なものとして、9月には修学旅行・定期考査、10月には文化発表会、11月には定期考査・職場体験・校外学習、12月には三者面談などを予定しています。他にもいろいろな行事がありますので、忙しい2学期と言えます。このような行事を一人一人が意味あるものにするためには、どのようにしたらよいでしょうか。

- *行事が実施される意義をよく理解して、参加する。
- *行事における自分の役割を理解し、それを果たそうとする。
- *行事の振り返り（まとめ）を行い、学校生活や次の行事につなげる。

これらの3点を少しでも意識して参加するだけで、行事は成功に近付き、生き生きとした学校生活が送れるでしょう。しかし、長丁場の2学期では、いくつかの失敗や悩んでしまう場面があるかもしれません。そんなときは、先生方に遠慮なく相談してください。一緒になって悩みなどを解決したいと思います。

保護者の皆様も、お子様の気になる点などありましたら、ご連絡ください。2学期も職員一同、頑張っまいますので、どうぞよろしくお願いたします。